

淀川の干潟に いってみよう!



お問い合わせは、
淀川河川事務所
河川環境課まで
お願いします。



発行: 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
〒573-1191 大阪府枚方市新町2-2-10
電話072-843-2861
<http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/>

平成27年2月作成

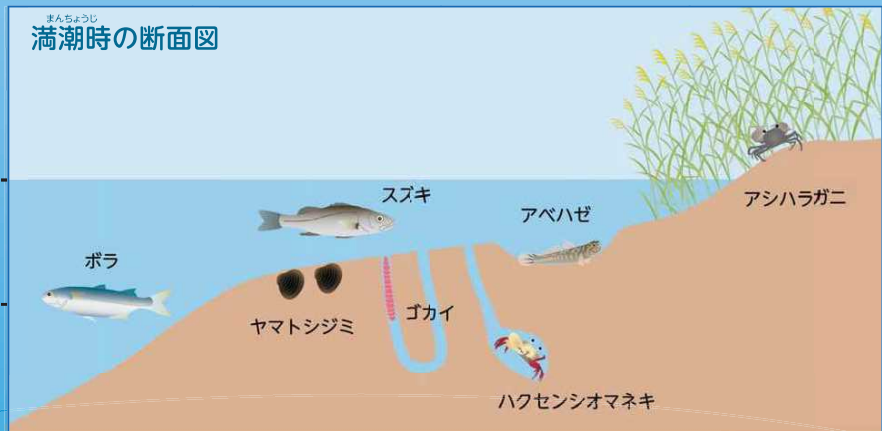
Let's Go to the Tideland of YODOGAWA!

干潟ってどんなところ？

「さっきまで水面があったのに、今は陸になっている！」

潮が満ちているときは水に沈み、潮が引くと砂や泥の陸が現れるところを干潟といいます。干潟を知って、干潟をもっと楽しみましょう！

満潮(一日のうちで最も潮が満ちているとき)



もっと知りたい もっとくわしく知るためには

淀川資料館

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2-13
電話: 072-846-7131
<http://www.yodo-museum.go.jp/>
淀川の歴史・文化・自然をたくさん資料や展示で紹介しています。「淀川環境」ゾーンでは、淀川にすむ生きものにも出会えます。

大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪府大阪市 東住吉区長居公園1-23
電話: 06-6697-6221
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
大阪の自然について学ぶことができる。大阪府内で最も大きい自然系博物館です。観察会や講演会、ワークショップなど、さまざまな行事もおこなっています。

公益社団法人 大阪自然環境保全協会(ネイチャーおおさか)

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋 202
電話: 06-6242-8720
<http://www.nature.or.jp/>
大阪府内で自然観察会や里山管理、講演会などをおこなっている民間団体です。淀川自然観察会では淀川の干潟にて生きもの・自然観察会をおこなっています。

淀川管内河川レンジャー(国土交通省 淀川河川事務所 枚方出張所内 中央流域センター)

〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32
電話: 072-861-6801
<http://www.river-ranger.jp/>
河川レンジャーは、住民と行政が一緒になって川を守り育てていくための橋渡し役として活動しています。淀川の魅力を紹介する講座や、清掃活動、観察会などをおこなっています。

水生生物センター(地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所)

〒572-0088 大阪府寝屋川市木屋元町10-4
電話: 072-833-2770
<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/biodiv/>
水辺を中心とした生物多様性、イタセンパラやミズアオイなど希少種の保全、外来種対策、魚の病気などについて調査研究をおこなっているほか、生きものに関する出前授業や自然観察会なども実施しています。

書籍

「大阪市立自然史博物館叢書③ 干潟を考える 干潟を遊ぶ」
大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター 編著
東海大学出版会 2008年

「瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック」
香川大学瀬戸内圏研究センター
庵治マリンステーション 編
恒星社厚生閣 2011年

「干潟ウォッチング フィールドガイド」
市川市・東邦大学東京湾生態系研究センター 編
誠文堂新光社 2007年

「干潟の生きもの図鑑」
三浦知之 著 南方新社 2008年

「干潟ベントスフィールド図鑑」
鈴木孝男 他 著 日本国際湿地保全連合 2013年

干潟の観察会に行ってみよう!



子どもも大人も泥だらけ! 楽しみながら干潟の魅力を学んだよ。

「干潟で生きものを観察してみたいけど、どうすればいいの?」
そんな人は、ぜひ観察会に参加してみましょう。干潟の見どころや生きものを見付けるポイントなどを、ていねいに解説してくれます。博物館や各団体のウェブサイトには観察会の案内が掲載されていますので、一度チェックしてみましょう。



何がいるのかな?

写真: 干潟であそぼ! 「楽しい水辺教室」in 柴島干潟 (平成26年5月 大阪市環境局・東淀川区役所主催)

このパンフレットの製作にあたりご協力いただいた皆様(敬称略)

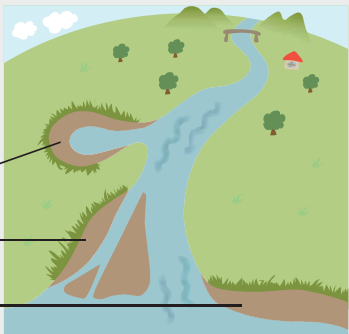
河合典彦(大阪市立城陽中学校)、山西良平(大阪市立自然史博物館)
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪市環境局、淀川資料館

もっと知りたい 干潟Q&A

Q 干潟ってどんなところにあるの？

A 川の近くにできるよ。できる場所によって、3つの種類に分けられるんだ。

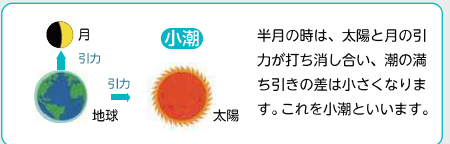
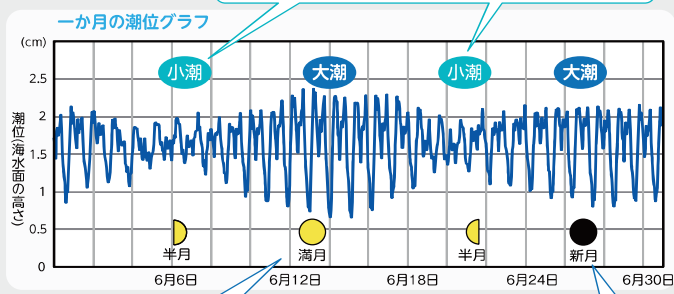
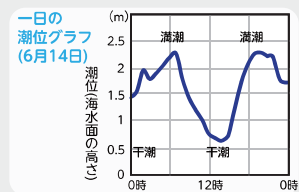
- せきこ ひがた 潟湖干潟** 湾のような形に入り込んだ部分に沿って泥や砂がたまってできた干潟。
- かこう ひがた 河口干潟** 川の河口付近に泥や砂がたまってできた干潟。
- まえはま ひがた 前浜干潟** 海岸線に沿ってできる干潟。波の影響を受けやすいので、砂がたまってできたものが多い。



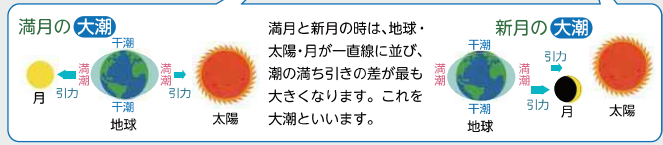
Q 潮の満ち引きはなぜ起きるの？

A 月と太陽の引力(物をひっぱる力)が関係しているんだ。

潮が満ちたり引いたりするのは、月と太陽の引力が海水をひっぱるために起こります。



月の引力によって、干潮・満潮は1日2回ずつ起こります。また、太陽の引力が加わることで、潮の満ち引きの差が最も大きくなる「大潮」が月に2回起こります。



Q 貝は水をきれいにするって本当？

A 本当だよ! 実験してみてね。

シジミやアサリなどの貝(二枚貝)は、にごった水を吸い込み、その中のプランクトンなどを食べて栄養にし、きれいになった水をはき出します。干潟にすむ二枚貝は、水をきれいにするのにとても役立っています。

にごった海水の中に

30分後

さらに30分後



シジミを入れたもの シジミを入れないもの

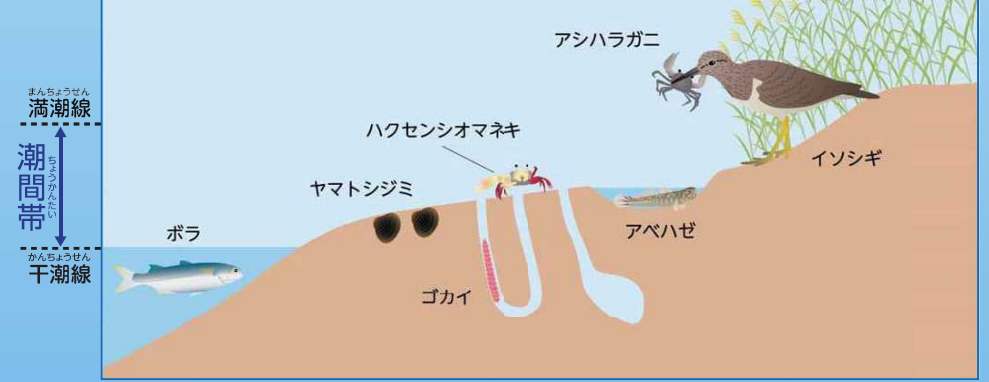
もくじ

干潟ってどんなところ?	1	淀川ってどんな川?	17
干潟は生きものの宝庫	3	淀川のいま・むかし	18
さあ、干潟についてみよう!	5	干潟再生への取り組み	19
生きものカレンダー	6	干潟Q&A	21
生きもの図鑑	7	もっとくわしく知るためには	22
淀川の干潟	11		

かんちょう 干潮 (一日のうちで最も潮が引いているとき)



かんちょうせん 干潮時の断面図



干潟は生きものの宝庫

潮が引いて干潟が現れると……生きものがたくさん！
 干潟は水でおおわれたり、陸地になったりと一日の内に環境が大きく変わります。
 そのため、両方の環境に合った生きものが干潟にやってきます。
 また、干潟は海水と淡水がまざり合う場所であり、
 川と海の両方から栄養分(有機物)が流れこんできます。
 その栄養分を求めて、たくさんの生きものが干潟にやってくるのです。
 さあ、生きものの宝庫・干潟をのぞいてみましょう！



生きもの豊かな干潟を目指して

淀川の汽水域に生活する生きものや、
 渡り鳥のえさ場・休息の場として重要な干潟の保全・復元を目的に、淀川干潟再生事業が実施されました。
 平成16年に柴島地区の河川敷を削り、その際に発生した土砂を使って海老江地区を埋め立てました。
 こうして、柴島干潟、海老江干潟という二つの干潟が同時に造られました。
 また平成20年には、埋め立てにより大淀地区にも干潟が造られました(大淀干潟)。

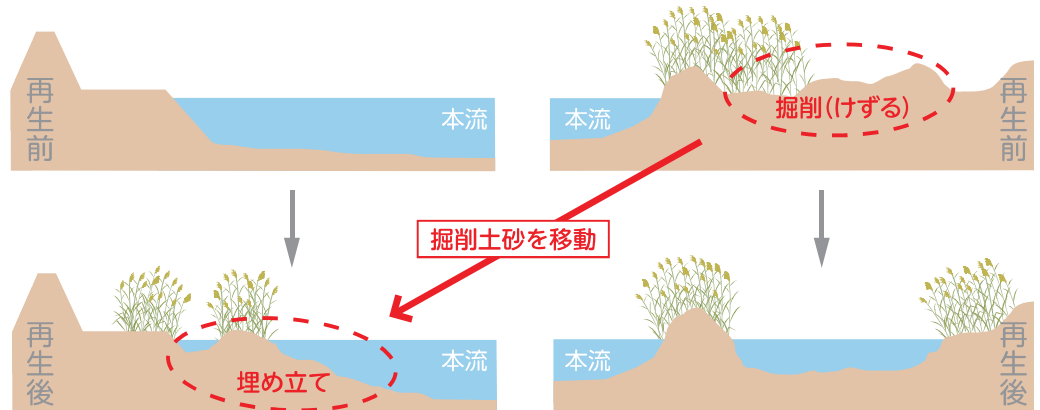
現在 淀川では3つの干潟が再生されました。



干潟の再生(断面図)

海老江干潟 潮が引いても陸地が現れませんでした。

柴島干潟 潮が満ちても水につからない陸地でした。



もっと知ろう! 干潟再生への取り組み

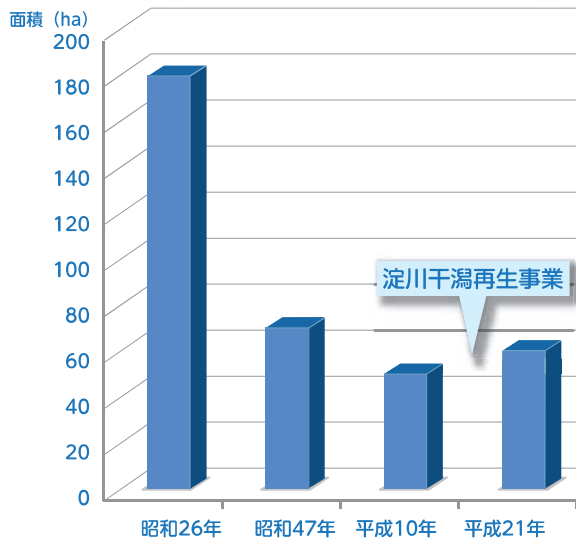
減ってしまった淀川の干潟

淀川の河口部には、昭和20年代に約180haの干潟が存在していました。

しかしその後、地盤沈下や河川の改修工事、上流から流れてくる土砂の減少などの影響により、干潟は徐々に消滅していきました。

昭和47年には約70ha、平成10年には約50haにまで減少しています(右図)。

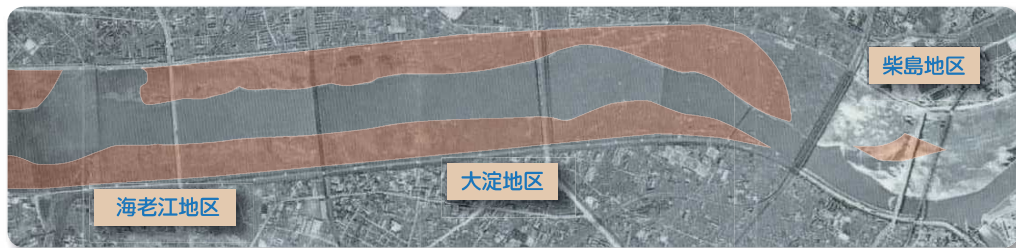
淀川汽水域における干潟面積の変化



淀川干潟再生事業

淀川汽水域における干潟の変遷

昭和23年 川の両岸に干潟が広がっていました。



平成14年 干潟の多くが消滅してしまいました。



みお筋

みお筋は魚の大事な通り道!

～干潟のキーワード～

- ✓ヨシ原**
 ヨシが集まって生えているところ。カニや鳥など、たくさんの生きものが生活しています。
- ✓タイドプール**
 干潮時に地面のくぼみなどに取り残された水たまり。潮だまりともいいます。
- ✓みお筋**
 水が流れている深い部分。干潟では細く水が流れているところをいいます。
- ✓ベントス**
 干潟を歩いていたり、砂や泥にもぐっていたり、石にくっついたりして生活する生きもの。カニや貝、ゴカイなどがあてはまります。

干潟には泥が多いところ、砂が多いところ、れき(小さな石)が多いところがあるよ。すんでいる生きものに違いはあるのかな?

さあ、干潟に いってみよう!



**長ぐつ・手袋・
長袖・長ズボンで安全に!**

貝殻やガラスの破片でケガをすることがあります。

干潟観察におすすめの 服装と持ち物

あと安心・便利なもの

- ・タオル
- ・着替え
- ・スコップ
- ・飲み物
- ・カメラ
- ・凶鑑
- ・救急用具
- ・ばんそうこうや消毒液、傷口を洗う真水があると安心です。
- ・双眼鏡

鳥を観るのなら

太陽は絶対に見えないでね。

中には?

リュックサック

両手を自由に使えます。

タモ網

魚などをつかまえます。釣具店などで売っているD型の網がおすすめです。



ぼうし 帽子

つばのある帽子を選びましょう。ひもがあると安心です。

軍手

手のケガを防ぐため、手袋をしましょう。

バケツ

道具や生きものを入れて持ち歩くのに便利です。

長ぐつ

古い運動ぐつでもOKです。サンダルはぬげやすく危険です。やめましょう。

レベルアップ! 生きものをくわしく調べるには



- ① ふるい……スコップでとった泥や砂をふるいにかけて、生きものを探します。
- ② パット……つかまえた生きものを入れて観察したり写真を撮るときに使います。
- ③ ピンセット・虫めがね……小さな生きものを観察するときに使います。
- ④ 定規……生きもの大きさを測るときに使います。
- ⑤ 鉛筆……水性ペンは水にぬれるとにじんでしまうので、鉛筆がおすすめです。
- ⑥ ノート……日付・時間や天気、観察した生きものを記録しましょう。

注意事項

- ・干潟には絶対に一人で歩かないように。大人の人と一緒に歩きましょう。
- ・大きい石の上は足元が滑りやすいので気を付けましょう。
- ・泥の干潟では足がはまって動けなくなることがあります。泥の深い場所には近づかないようにしましょう。
- ・干潮時に沖の方へ行きすぎないように。潮が満ちて帰れなくなることがあります。
- ・ひっくり返した石や、掘り返した砂や泥は、元に戻しましょう。
- ・生きものは観察したら元の場所に戻しましょう。

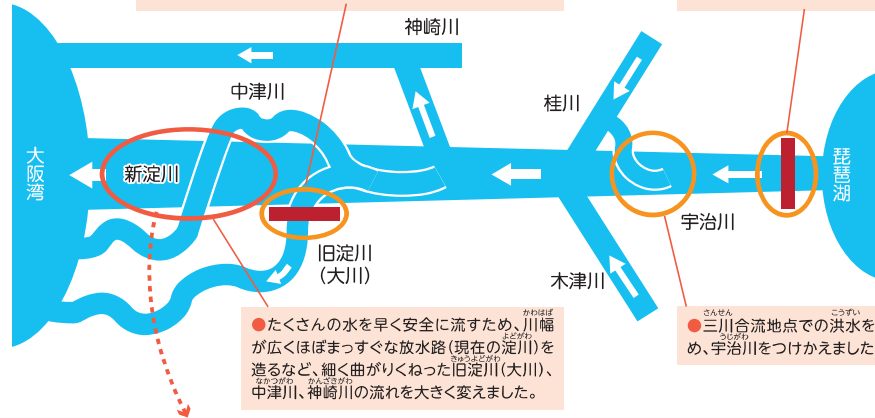
もっと知りたい 淀川のいま・むかし

かつての大阪平野には、いくつもの細い川が曲がりくねって流れていました。その川の水を使い、船で人や物を運ぶことで、川沿いに町が発展していきました。その一方で、大阪平野ではたびたび洪水が発生し、周辺の住民は大きな被害にあっていました。そこで、洪水を未然に防ぐことを目的として、明治時代(明治29~43年)に淀川の改良工事がおこなわれました。町の中心を流れていた淀川の川幅を広くし、流れをまっすぐにつけかえる大工事です。この工事によって、現在の淀川(新淀川)が誕生し、大阪の町の中心では洪水が起こりにくくなりました。

淀川改良工事 (明治29~43年)のおもな工事

- 洪水が起きた際、町に流れる水をくいとめるため、旧淀川(大川)に堰がつけられました(毛馬洗堰)。
- こう門を造り、水位差のある新旧淀川の間を船が行き来できるようにしました。

- 琵琶湖の周りの洪水を防ぐため、琵琶湖と瀬田川の間を水量を調節するための堰を造りました(瀬田川洗堰)。



- たくさんの水を早く安全に流すため、川幅が広くほぼまっすぐな放水路(現在の淀川)を造るなど、細く曲がりくねった旧淀川(大川)、中津川、神崎川の流れを大きく変えました。

- 三川合流地点での洪水を防ぐため、宇治川をつけかえました。

新淀川の計画図



「淀川改修下流部比較法線入平面図」淀川資料館蔵

もっと知りたい 淀川ってどんな川?

淀川の源流は、滋賀県の山間部にある大小の川です。

琵琶湖に注いだ川の水は、瀬田川として流れ出たのち、京都府に入ったところで名前を宇治川に変えます。

その後、桂川、木津川と合流し、淀川となって大阪府に入ります。

この淀川と琵琶湖、それらに注ぐ川全部をまとめて、淀川水系といいます。

淀川水系は、滋賀県、京都府、三重県、奈良県、大阪府、兵庫県、大阪府の2府4県にまたがる大きな水系で、

琵琶湖の出口から大阪湾までの長さ75km、流域面積8,240km²にもおよびます。



生きものカレンダー

生きものを観察するのにいい時期はいつかな? 調べてみよう!

	カニ・エビ類	貝類	魚類	鳥類	植物
1月				カモ類	スジアオノリ
2月				淀川では年中見られる	
3月				シロチドリ・イソシギ	
4月				春の渡り シギ・チドリ類	
5月	ハクセンオマケなどの求愛のダンスが見られる	潮干狩りシーズン 貝類は年中見られるが、観察には4〜10月がおすすめ			果実が見られる
6月	カニ類		ボラ		シオクグ
7月	テナガエビ・ユビナガシエビ		ハゼ類 スズキ		ヨシ
8月					
9月				秋の渡り シギ・チドリ類	
10月					花が見られる
11月				カモ類	ウラギク
12月					スジアオノリ

行く前に調べておくこと

- いつ?**
- 干潟の観察は、昼間に潮がよく引く春から夏にかけての大潮(→P.21)の日の干潮の時間に行くのがおすすめです。
 - 増水していないかなど、川の状態を調べておきましょう。
 - めあての生きものが観察できる時期を確認しておきましょう。
 - ※干潮時と満潮時では見える景色や生きものが違います。時間を変えて観察してみましょう。
 - ※鳥を観察するには潮の引き始めや満ちてきた時がおすすめです。

新聞のこよみ

明日のこよみ

6月13日(金)
(旧暦 5月16日)

日出 4:44
日入 19:12
月出 19:10
月入 4:43

大満

月齢 15.3

大阪港標準

満潮 6:07 19:40
干潮 0:27 13:04

インターネットで

気象庁/潮位表

干潮・満潮時間や潮位をチェック!

川の防災情報

水位など、今の川の状態がわかるよ。

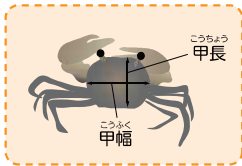
- どこ?**
- 干潟の場所と行き方、危険な場所はないかを事前にチェックしておきましょう。
 - トイレの場所や、手を洗える場所を確認しておくこと安心です。
 - 夏は日陰で休けいできる場所も確認しておきましょう。
 - 熱中症注意!

生きもの図鑑

カニ・エビ類

淀川の干潟には、こんな生きものがあるよ！

●カニのサイズ



ハクセンシオマネキ
甲長 12mm 甲幅 20mm

ハサミが白く、オスは片方だけ大きなハサミを持ちます。繁殖期にはオスがハサミをふりながらメスに求愛します。



ヤマトオサガニ
甲長 30mm 甲幅 40mm

横長の甲らを持つカニで、やわらかい泥の干潟でよく見られます。干潟では長い眼を立ち上げているのが特徴です。



モクズガニ

甲長 50mm 甲幅 55mm

ハサミに長い毛がたくさん生えているカニです。普段は淡水域で見られますが、秋ごろ繁殖のため河口に降りてきます。



クロベンケイガニ

甲長 33mm 甲幅 35mm

アカテガニに似た形ですが、色は全体的に黒紫色をしています。夜行性で、ヨシ原や河川敷など広い範囲で生活します。



ハマガニ

甲長 40mm 甲幅 50mm

甲らは丸みのある四角形で、紫色を帯びたカニです。ヨシ原で生活しますが、夜行性で昼間はおもに巣穴の中にいます。



アシハラガニ

甲長 22mm 甲幅 25mm

甲らは全体が灰色で、縁が黄色いカニです。ヨシ原に巣穴を掘って生活します。雑食性で、他のカニも食べます。



アカテガニ

甲長 30mm 甲幅 35mm

名前の通り、手(ハサミ)が赤いカニです。河口からヨシ原、林など、広い範囲で生活します。

チャレンジ!

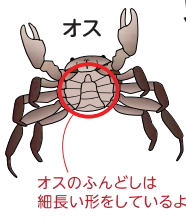
たくあんでカニを釣ってみよう!

網でカニを捕まえるのはとても難しい! でも、たくあんでカニを釣ることができるんだ。

たくあんに糸をくりつけたり、そっとカニに近づけてみてね。カニがたくあんをハサミではさんだら……ゆっくり釣り上げてみよう!

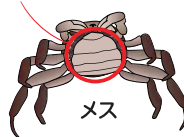
たくあんで釣れないカニもいるよ。どの種類のカニが釣れるか、試してみてね。

カニのオス・メスを見わけてみよう!



オスのふんどしは細長い形をしているよ

メスのふんどしは卵を抱きやすいように幅が広がっているよ



メス

カニのおなか側を見みると、「ふんどし」と呼ばれる部分があるよ。

ハサミや体の大きさなどでオス・メスを見分けられる種もあるけど、ふんどしを見ればどのカニでも、一目でオスカメスがわかるんだ!

さあ、干潟に 行ってみよう!



十三大橋下の干潟

歩いてわたれる橋

橋の上からヤマトオサガニやアシハラガニ、クロベンケイガニが観察できるよ

双眼鏡を持って行こう

シギ・チドリが見られるかも!

大淀干潟

大淀干潟の川岸は危ないので近づかないように。

駅から歩いて15~20分



三つの島が並ぶ、最も新しい干潟!

大淀干潟

近年、海老江干潟をモデルに、沖側に島がある形の干潟として再生されました。また、タイドプールができるような地形にするなど、渡り鳥やハゼなどの魚類にとって生活しやすい環境となるように造られました。上流の干潟(十三・柴島)と下流の干潟(海老江)とをつなぐ「生きもの通り道」としての役割を果たしています。

橋の上からカニが見える!

十三大橋下の干潟

十三大橋の中津側から下流をながめると、野球場の手前に小さなヨシ原が見えます。春~秋の干潮時に橋からこの場所を見下ろすと、干潟の上をアシハラガニやヤマトオサガニなどのカニがたくさん歩いている光景を目にすることができます。

他の場所と異なり、干潟を真上から見渡せるので、簡単に干潟を観察できる貴重なスポットとなっています。

双眼鏡でカニを見てみよう



淀川の干潟



双眼鏡で鳥やカニを
見てみよう!!



花川干潟

JR塚本駅から徒歩5～10分ほどの場所にある干潟です。春から夏は潮干狩りにでぎわうほか、シギ・チドリ類などの鳥類も見られます。

駅から歩いて10分くらい

淀川河川公園へは

阪神電車「野田」駅、JR東西線「海老江」駅、地下鉄千日前線「野田阪神」駅下車徒歩10分。大阪市バス又は阪神バス「上海老江」下車徒歩7分。駐車場・駐輪場:淀川河川公園 海老江地区の駐車場(9時～17時開場、6～8月は19時まで)



渡り鳥が立ち寄り、
海に一番近い干潟!

海老江干潟



春や秋にはシギ・チドリがいっぱい!

柴島干潟とは逆に、埋め立てにより造られた再生干潟のひとつです。現在では多くの生きものが見られるようになり、春や秋には干潟でエサをとったり、羽を休めたりするシギやチドリなどの渡り鳥も多数観察できます。また、カワザンショウガイやヤマトシジミといった貝類も多く見られ、十三干潟や柴島干潟と同じく、潮干狩り客が多く訪れる場所になっています。

海老江干潟

タイドプールにマハゼ



カワザンショウガイ

イシマキガイ

ヤマトシジミ

ゴカイ

ハクセンシオマネキや
モクスガニにも会えるかも!!

クロベンケイガニ

橋・車道をわたる

駅から歩いて2～3分

阪神「淀川」駅

JR「海老江」駅

花川干潟

シギ・チドリ



ヤマトシジミ



ボラ



クロベンケイガニ



さあ、干潟に
行ってみよう!

貝類

●貝のサイズ



殻長



テナガエビ

体長 90mm

名前の通り、非常に長い手(第二胸脚)を持つエビです。淡水域で多く見られますが、河口でも観察できます。



ユビナガスエビ

体長 40mm

透明のものや黒っぽいもの、背中に線が入るものなど、ものによって色や模様が違うエビです。河口で多く見られます。



カワザンショウガイ

殻長 7mm

小さな巻き貝で、多くは殻の先がすり減っています。ヨシ原の中、砂や泥、石やブロックの表面などに見られます。



イシマキガイ

殻長 22mm

上から見ると、だ円型をした巻き貝です。河口でも、塩分の低い汽水域にある岩の表面に多く見られます。



ヤマトシジミ

殻長 40mm

丸みを帯びた三角形の二枚貝です。昔から食用とされ、淀川でも潮干狩りの対象として人気があります。

指はさまれないように
気をつけてね!



釣り上げられたクロベンケイガニ

潮干狩りは「貝毒」に注意!



タマレンセ
(大きさ約0.03mm)

シジミなどのエサになるプランクトンには毒をもつ種類がいて、それを食べた貝の体には毒がたまります。

もし毒がたまった貝を人間が食べると、しびれなどの中毒症状が起きることがあります。

毒をもつプランクトンの一種。潮干狩りシーズンである春に発生する。

写真提供: (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所



干潟の恵みをいただく潮干狩り。でも、警告看板が立っていたら貝をとって食べちゃダメよ!

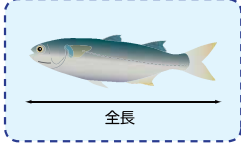


生きもの図鑑



魚類

●魚のサイズ



ボラ 全長 60cm
満潮時の干潟で見られる大きな魚で、水面をジャンプする姿を観察できます。泥の中の藻や小さな生きものを食べます。



スズキ 全長 100cm
満潮時の干潟で見られ、肉食でエビや魚を食べます。冬は海で過ごし、春から秋は河口の広い範囲で生活しています。



マハゼ 全長 13~25cm
干潟や内湾で見られる大型のハゼです。水深の浅い場所です。冬になると泥の干潟に巣穴を掘って繁殖します。



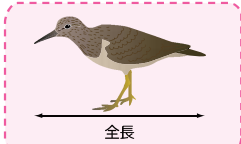
アベハゼ 全長 5cm
顔が丸く、体の後半から尾びれにかけて2本の黒い帯があるのが特徴です。砂や泥の干潟、石の転がる浅瀬で生活します。



ウロハゼ 全長 20cm
下あごが突き出した大きな頭が目立つ、大型のハゼです。ブロックの下など、身を隠せる障害物の近くで生活します。

鳥類

●鳥のサイズ



シロチドリ 全長 17cm
くちばしが短いチドリの仲間です。淀川では一年中見られ、干潟や砂州で、ゴカイやカニなどをエサにします。



メダイチドリ 全長 20cm
オレンジ色の胸が目立つチドリの仲間です。淀川では春と秋に見られ、干潟でエサをとるようすが観察できます。



オオソリハシシギ 全長 39cm
少し上に反った長いくちばしの特徴です。淀川では春と秋に見られ、干潟でカニなどを食べるようすが見られます。



イソシギ 全長 20cm
横から見ると胸のあたりに白い食い込みがあるのが特徴です。一年中見られ、干潟でエサをとるようすが観察できます。



チュウシャクシギ 全長 42cm
このほか、枯れたヨシの茎は硬くて丈夫なため、日本各地で古くからヨシ刈りがおこなわれており、さまざまな形で人の生活に利用されてきました。



中津のヨシ原
堤防沿いに広がるヨシ原で、川岸やヨシ原内に干潟が見られます。秋になればウラギクの花が見つかるかも。



潮干狩りでにぎわう、電車から見える干潟!
柴島干潟
淀川干潟再生事業(→P.19)により平成16年に造られた再生干潟のひとつです。元々は潮が満ちても水につからない陸地でしたが、土を削り人工的に干潟が造られました。現在ではヤマトシジミが数多く生息し、十三干潟と同様、潮干狩りでにぎわっています。また、再生したヨシ原では、ウラギクなどの貴重な植物を見ることができるようになりました。

ヨシ原は水の流れをゆるやかにしたり、外敵から身を守るための隠れ家になるので、魚や虫、カニ、鳥、ネズミなど、たくさんの生きものが生活しています。

また、ヨシは水のよごれの原因となる栄養分(リンや窒素)を吸着することで、水をきれいにする働きがあります。

ヨシは人のくらしとも深い関わりがあって、昔からすだれや屋根の材料として利用されてきたんです。

このほか、枯れたヨシの茎は硬くて丈夫なため、日本各地で古くからヨシ刈りがおこなわれており、さまざまな形で人の生活に利用されてきました。



淀川の干潟



淀川河川公園へは
阪急電車「南方」駅、地下鉄御堂筋線「西中島南方」下車徒歩7分。
大阪市バス「木川東2丁目」下車徒歩5分。
駐車場・駐輪場:淀川河川公園 西中島地区の駐車場 (9時~17時開場、6~8月は19時まで)



大都会に広がる淀川最大の干潟!

十三干潟

十三干潟は淀川で最大の面積をもつ干潟です。かつては淀川にも多くの干潟が存在しましたが、河川の整備や周辺の開発によりそのほとんどが失われました。十三干潟は淀川に残された数少ない自然の干潟です。
十三干潟にはヤマトシジミが生息し、春から夏にかけてたくさんの方が潮干狩りに訪れます。また広大なヨシ原には、アシハラガニやクロベンケイガニなどのカニも多数生息しています。

ヨシ原の魅力



淀川でウナギが見られるんだ!

干潟にすむ魚には、一生のほとんどをそこで過ごす種類のほかに、ある時期だけ利用する魚もいます。ニホンウナギもそのうちのひとつです。
ニホンウナギは南の暖かい海で生まれ、長い旅をして日本にやってくる。そして、日本の川・池・湖や干潟などで大きくなります。



天然のニホンウナギは数が減ってしまったため、「絶滅危惧種」に指定されています。

チャレンジ!

くちばしを観察してみよう!

干潟で見られる鳥たちは何をしているのでしょうか。休けいしている、エサを食べている。そんな鳥のくちばしをよく見てみると……。



くちばしは、長いもの、短いもの、形もさまざま。どんなものを、どんなふうに使っているのかな? エサを食べているようすを観察してみよう!

渡り鳥と干潟

子育てや暖かいところで冬を越すために、長い旅をする鳥がいます。そんな、季節によってすむ場所を変える鳥を「渡り鳥」といいます。
特にシギやチドリの仲間は、子育てのために北へ向かう「春の渡り」と、子育てを終えて冬越しに南へ向かう「秋の渡り」の年2回、日本の干潟に立ち寄ります。
干潟は渡り鳥にとって、羽を休めたりエサを食べたりする、とても大切な場所です。



植物



ヨシ 茎の高さ 150 ~ 300cm
淀川の広い範囲に生えています。特に、十三干潟では広大なヨシ原となり、鳥やカニなどが生活する重要な場所です。



ウラギク 茎の高さ 25 ~ 55cm
海岸や干潟などの汽水域に生えるキクの仲間です。秋から初冬にかけて、薄紫色の花をたくさん咲かせます。



シオクグ 茎の高さ 30 ~ 50cm
海岸や干潟などの汽水域に生えます。地下茎を伸ばして広がり、細長い葉を出します。春から初夏に花をつけます。



スジアオノリ
アオノリの仲間、石やブロックに貼りついて生えています。食用として売られています。

淀川の干潟

さあ、干潟に  行ってみよう!

よどがわ ひがた
大都会に広がる淀川最大の自然干潟!



じゅうそう ひがた
十三干潟 (大阪市淀川区) → P13~14

なら ひがた
三つの島が並ぶ、最も新しい干潟!



おおよど ひがた
大淀干潟 (大阪市北区) → P15~16



はなかわ ひがた
花川干潟 (大阪市西淀川区) → P15~16

わた ひがた
渡り島が立ち寄る、海に一番近い干潟!



えびえ ひがた
海老江干潟 (大阪市福島区) → P15~16

橋の上からカニが見える!



じゅうそう ひがた
十三大橋下の干潟 (大阪市北区) → P15~16

しおひが ひがた
潮干狩りにでぎわう、電車から見える干潟!



くにしま ひがた
柴島干潟 (大阪市東淀川区) → P13~14



なかつ
中津のヨシ原 (大阪市北区) → P13~14

